

留学体験レポート

21015114 本多 由佳子

9月3日から12月24日までの約4か月の間、韓国の慶熙大学で留学をしてきました。最初の3週間は夏の短期プログラムで初級1のクラスで学びました。初級1の授業内容は留学に行く前にほとんど習っていたものだったので、復習をしているような感じでした。この期間では韓国語での授業に慣れるための期間でもあったと思います。韓国語を聞くこと話すことにどんどん慣れていき秋学期を迎えることが出来ました。秋学期は初級2のクラスに入りました。初級2のクラスでは毎日新しい文法や単語を習うので正直大変な時もありましたが、表現の仕方がどんどん増えていくので伝えたいことをきちんと伝えられることが増えていきました。それに秋学期になると夏の時とは反対に中国やタイ、サウジアラビアなど日本以外からの留学生が多かったので、お互いの共通言語が韓国語になるので韓国語で話す機会が増えました。同じクラスの人たちとごはんに行ったりカラオケに行ったりしました。もちろんカラオケでも韓国の歌を歌っていました。みんなで一緒に歌って楽しかったです。最初は単語がわからなくて伝えたいことがあっても伝えられないことがありましたが、クラスの人たちともっと話したいと思い韓国語の勉強を頑張りました。クラスの人たちの存在が韓国語の上達につながったと思います。留学中に会った人たちにまた会えたらいいなと思います。そしてまた会えた時にたくさん話せるようこれからも韓国語の勉強を一生懸命続けたいと思います。

そして、私たち国際情報大学の学生は午後に文化の授業を受けていました。たとえば、韓国の遊びをしたり韓服を着てみたりしました。そして1番楽しかったのはK-POPダンス講座です。私たちは、その時韓国ではやっていたI.O.Iの「너무 너무 너무(Very Very Very)」という曲のダンスを習いました。昔ダンサーだった先生に教えてもらいみんなうまくできないながらも楽しく踊ることが出来ました。習った日から休憩室で音楽番組を見ているときにその音楽が流れるとみんなで踊っていました。ダンスを習ったことは今までなかったのもとてもいい経験になったと思います。

この韓国留学を通して、韓国語学習だけでなく海外のお友達が出来たり実際にその国の人たちと同じように生活したりなかなか経験できないようなことができてとても貴重な体験ができたと思います。それもこの派遣留学制度があった為だと思います。参加させていただきありがとうございました。